



大東小学校 学校運営協議会

コミュニティ・スクールだより

令和7年12月12日号

令和4年度より大東小学校はコミュニティ・スクールとなり、今年度が4年目です。12月9日（火）には、第2回学校運営協議会を開催しました。

2回目の学校運営協議会では、第1回で承認された「学校運営に関する基本的な方針」に基づいた、本校の教育活動や取組について説明をしました。

また、代表委員会の児童が「いじめ防止の取組」について発表しました。（以下、発表のスライド）

<h2>大東小 代表委員会</h2> 	<h3>さいたま市中の学校で話し合った結果</h3>  <p>木崎中校区 スローガン</p> <p>たが りかい あ お互いを理解し合っ て、自分から考動する</p>	<h3>大東小×心を潤す4つの言葉</h3>  <p>ふわふわ言葉の花を 咲かそうキャンペーン</p>
	<h3>もっとふわふわ言葉が 咲かせられるように、 相手がうれしくなる言葉 を使えるような活動を！</h3> 	 <p>発表する代表委員の大東っ子たち</p>

代表委員会の「いじめ防止の取組」について、委員の皆様からそれぞれの立場でお話をいただきました。

- 私からあいさつをして、あいさつが返ってくる子はニコニコしています。返ってこない子は、何かあったのかなと思ってしまいます。みんなに公平にあいさつをしています。
- パパやママがあいさつをしている家の子はあいさつができます。毎日、子どもたちとふれ合って元気をもらせるし、楽しいです。
- 浦和西高校では、生徒会の役員が張り紙をしたり、全校生徒が集まる場で話をしたりしています。生徒会の生徒が中心となって活動をしています。
- 木崎中学校では、生徒会で定期的に朝のあいさつ運動をやっています。ほめられるとうれしいし自信がつくので、クラスの学級会などでも取り組んでいます。

そして、「子どもたちの『エージェンシー』をはぐくむ学校・家庭・地域の取組」について熟議をしました。短時間ではありましたが、活発な話し合いが行われました。

- 学校の周りを地域の方が清掃してくださっている現状を踏まえ、高学年児童が時間を設けて通学路の清掃活動を行うことで、地域への感謝や貢献意識を育めるのではないかと。
- 大東地区は子どものいる世帯が増えている。自治会活動では、祭りや行事への参加を通じて子どもたちを応援していきたい。
- PTAでは、保護者が無理なく参加できる自由参加形式で定期的なあいさつ運動を継続している。
- 高校生が小学校の授業の手伝いやスポーツの指導、ボランティア活動を行うことで、小学生だけでなく高校生自身の成長にもつながる。高校の人工芝グラウンドを活用したサッカー交流なども可能である。
- 2年生が町たんけんて来園した際、「みんな仲がよい」「給食がおいしい」など、日常生活のことを話してくれた。年長の園児も入学を楽しみにしている。小学生が園児と交流することで、自分より小さな子との接し方を学ぶ貴重な機会となっている。他の学年とも交流ができるとよい。



授業参観



熟議

たくさんの建設的で温かい御意見をいただきました。今後、子どもたちの「エージェンシー」をはぐくむ教育活動の充実に向けて取組を検討していきます。

次回の学校運営協議会では、「本校の取組の評価」及び「来年度の学校運営に関する基本的な方針の仮承認」を行います。